

単元名 Unit6 開店にこいちレストラン！オリジナルメニューを注文しよう。  
< NEW HORIZON Elementary 5 What would you like? >

1 単元について

【単元観】

本単元は小学校学習指導要領（平成29年）外国語（3）話すこと〔やり取り〕ウ「自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする」を受けて設定している。第4学年時にLet's try Unit 7 "What do you want?"の単元において、欲しい物を尋ねる表現を学んでおり、その表現を発展させたもので、実際のコミュニケーションでも活用できる表現である。単元末の活動に、グループで食べ物屋を開き、店員とお客に分かれて、注文と接客のやり取りを行う。開くお店を限定せず、自分たちでお店を開き、お金のやり取りを行うことで、より実際の場面に近い状況を作り出すことで、英語を学習する意義を見出すことができる。

【児童観】

本学級の児童は、第1, 2学年時に年間10時間、第3, 4学年時に年間35時間外国語活動を学んできている。第5学年から外国語科に変わり、週に2時間学習している。外国語に親しんでいる児童は積極的に発言し取り組むことができる一方、外国語に苦手意識をもつ児童も多く、やり取りの中で日本語を使ったり、積極的にやり取りを行えなかったりする姿がある。黒板にやり取りの流れを掲示したり、教員がそばについてサポートしたりしないと、やり取りを行えない児童も数名いる。外国語活動から外国語科へ変わり、週2時間に増えたことや、表現が難しくなってきたことから、単元末に行うテストでも、何度も授業中に使った表現でも間違える児童もおり、表現の定着において課題がある。

【指導観】

指導に当たっては、表現の定着の課題を解決するために、以下の点のことに留意して進めていく。

一つ目は、外国語への苦手意識をなくすため取り組む活動として、“What would you like?” “I'd like ~”の表現を繰り返し授業で使うことで慣れ親しむようにする。第2時から授業初めのSmall Talkで“What would you like?”の表現を使い、やり取りを行う。

二つ目は、様々な金額の数字を言えるようにすることである。十の位の数は、曜日で31まで言うことがあるが、それ以上の数や百の位の数を使うことがないので、言い方に慣れ親しむ必要がある。毎時間フラッシュカードで数を言う練習を行い、繰り返し練習することで、1人でも言えるように力をつける。

三つ目は、やり取りにおける表現力を豊かにするために、相手意識をもたせることである。今まで使ってきた“Me too.” “Nice.”だけではなく、話す速度を遅くしたり、注文を繰り返したりすることで、本当に接客しているようにやり取りを行う。また相手意識をもたせることで、黒板や紙を見ながら接客するのではなく、相手の顔を見てやり取りをすることから、表現を覚える必然性を指導していく。

## 2 単元の目標

- 自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり会計したりすることなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。
- アルファベットの活字体の活字体の大文字・小文字を書くことができる。【知識及び技能】
- 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。【思考力，判断力，表現力等】
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深める。【学びに向かう力，人間性等】

### <関連する学習指導要領における領域別目標（太字は単元の重点目標）>

聞くこと	イ ゆっくり話されれば，日常生活に関する身近で簡単な事柄について，具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

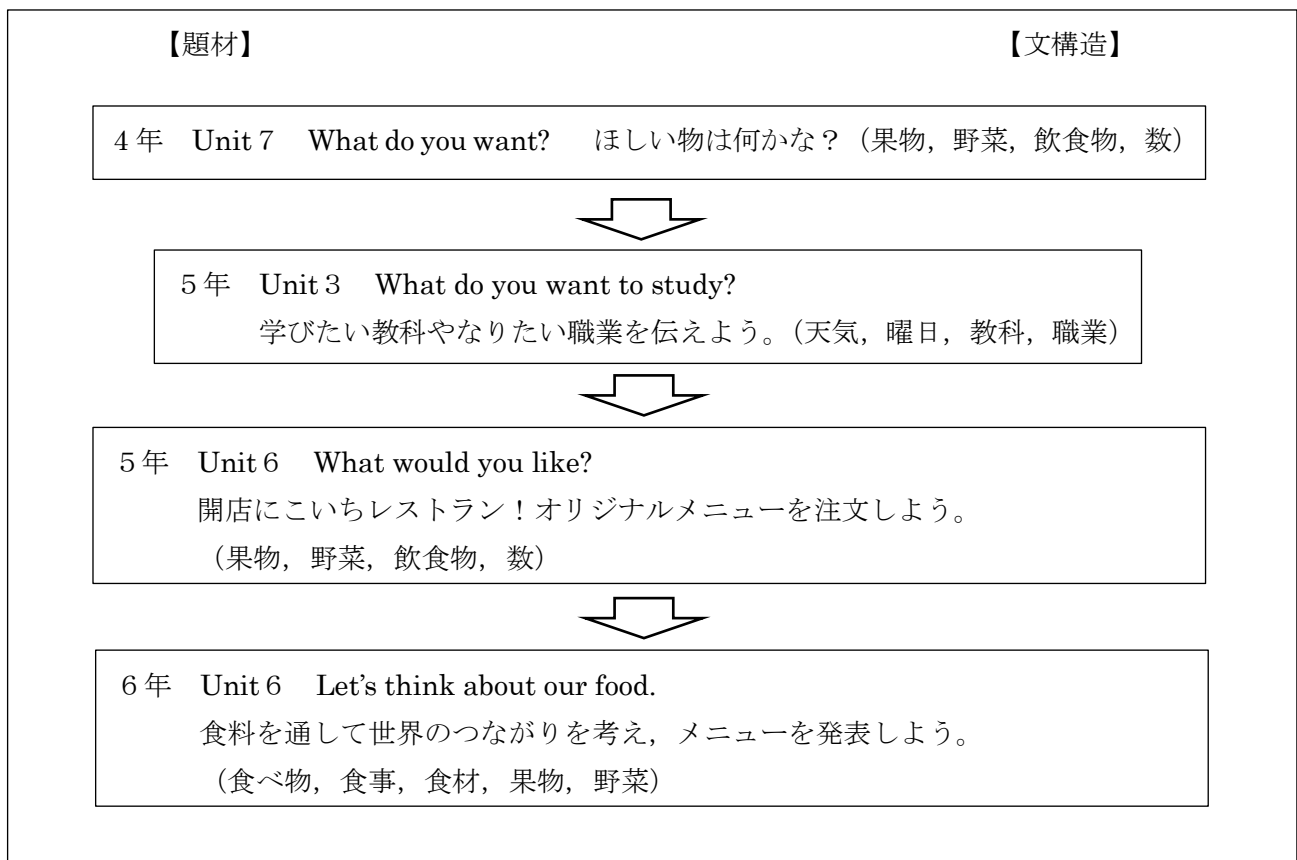
## 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて日本語と外国語との違いに気付いている。 ② 読むこと書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用している。	① 目的や場面，状況に応じて，身近で簡単な事柄について聞いたたり話したりしている。 ② 外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり，語順を意識しながら書いたりしている。 ③ 自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。	① 相手意識をもち，主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ② 外国語の背景にある文化に対する理解を深めている。

#### 4 つけたい資質・能力

主体性	お店屋さんを開き，接客をする活動から，欲しい物のたずね方や答え方，お金の聞き方言い方などを学習する見通しをもつ。欲しい物や金額をたずねたり答えたりして，既習表現を活かしながら学習活動に取り組むことができる。
コミュニケーション能力	相手に伝わるように，リアクションやジェスチャーを取り入れながら，欲しい物や金額をたずねたり答えたりすることができる。また，やり取りの中で，既習表現や簡単な反応をすることができる。
メタ認知	学習を通して，新しく学習した表現を活用する場面を考えたり，活動を通して自分や友達の言動を振り返ったりすることで，今後の学習に生かすことができる。

#### 5 単元関係図



#### 6 単元ゴール

開店にこいちレストラン！オリジナルメニューを考えて，友達と注文したり会計したりしよう。	
コミュニケーションの目的・場面・状況	自分の購入した欲しいメニューを友達に紹介する。そのために，グループでレストランを開き，友達とオリジナルメニューを注文したり，会計したりする。
目指す発話例	A : May I help you? What would you like? B : I'd like a salad sandwich. It looks delicious. A : A salad sandwich. OK?

	<p>B : OK. How much is it?</p> <p>A : It's 180 yen. 180 yen, please.</p> <p>B : I see. Here you are.</p> <p>A : Thank you. Here you are. See you.</p> <p>B : See you.</p>
--	---

### 7 言語材料（下線は新出）

主な表現	主な語句
<p><u>What would you like?</u></p> <p><u>I'd like a (salad sandwich).</u></p> <p>How much is it?</p> <p>It's (180) yen. / (A salad sandwich) is (180) yen.</p>	<p>○デザート(cake, parfait, pudding, ice cream, shaved ice, chocolate, popcorn, snack food) 食べ物 (rice, rice ball, curry and rice, grilled fish, bread, sandwich, pancake, pizza, hamburger, hot dog, French fries, fried chicken, sausage, steak, omelet, spaghetti, pie, salad, soup) 飲み物 (coffee, tea, green tea, juice, soda, milk, water, mineral water) 味 (bitter, sweet, salty, sour, spicy, delicious, soft, hard, cold, hot) 数 (one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten, twenty, thirty, forty, fifty, sixty, seventy, eighty, ninety, one hundred)</p>

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>③ 外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて日本語と外国語との違いに気付いている。</p> <p>④ 読むこと書くことに慣れ親しみ，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用している。</p>	<p>④ 目的や場面，状況に応じて，身近で簡単な事柄について聞いたり話したりしている。</p> <p>⑤ 外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり，語順を意識しながら書いたりしている。</p> <p>⑥ 自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>③ 相手意識をもち，主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>④ 外国語の背景にある文化に対する理解を深めている。</p>

### 8 単元計画（全8時間）

時	目標と主な活動	表現・会話例	評価規準（方法）
1	<p><b>課題の設定</b></p> <p><b>丁寧に注文する言い方を覚えて練習しよう。</b></p> <p><b>④この単元で取組む課題を知り，単元の見通しをもつ。</b></p> <p>○【動画】単元ゴールのやり取りを知ろう。</p> <p>○【word link】デザート P.9</p> <p>○「注文の言い方や答え方を練習しよう。」</p> <p>○【Let's sing】What would you like?</p> <p>○【Let's chant】I'd like a hamburger.</p>	<p>What would you like?</p> <p>I'd like～</p> <p>デザート</p> <p>cake, parfait, pudding, ice cream, shaved ice, chocolate, popcorn, snack food</p>	<p>・外国語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて日本語と外国語との違いに気付いている。【知】（行動観察，振り返り）</p>

2	<p><b>情報の収集</b></p> <p><b>会計の言い方を覚えて練習しよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【small talk】好きな食べ物を伝えよう。</li> <li>○【Let' s chant】What would you like?</li> <li>○【word link】味 P.11</li> <li>○「会計の言い方の練習をしよう。」</li> <li>○「数の言い方を練習しよう。」</li> <li>○【Let' s chant】How much is it?</li> </ul>	<p>How much is it? It' s~yen. 味, 数</p>	<p>外国語の音声や文字, 語彙, 表現, 文構造, 言語の働きなどについて日本語と外国語との違いに気付き, 理解している。【知】 (行動観察, 振り返り)</p>
3	<p><b>友達と注文や会計の練習をしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【small talk】好きな食べ物を伝えよう。</li> <li>○「数の言い方の練習をしよう。」</li> <li>○【Let' s chant】What would you like?</li> <li>○【word link】食べ物 飲み物 P.8, 9</li> <li>○【Let' s listen①】登場人物の話を聞いて, それぞれが注文したものを, 線で結ぼう。</li> <li>○【Let' s try②】食べたい料理を決めて, 友達とペアで注文したり注文を受けたりしよう。(PD P.8, 9)</li> <li>○【Let' s try③】メニューを見ながら, 友達とペアで料理の値段をたずね合おう。(PD P.8, 9)</li> </ul>	<p>What would you like? I 'd like~ How much is it? It' s~yen. デザート, 数, 食べ物, 飲み物</p>	<p>・目的や場面, 状況に応じて, 身近で簡単な事柄について聞いたり話したりしている。【技】(行動観察, 振り返り)</p>
4	<p><b>にこいちレストランのメニューを考えて, ペアで練習をしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【small talk】好きな食べ物を伝えよう。</li> <li>○「数の言い方の練習をしよう。」</li> <li>○【Let' s chant】What would you like?</li> <li>○【Let' s chant】How much is it?</li> <li>○【starting out】英語を聞いて, 場面の順に□に番号を書こう。</li> <li>○「オリジナルメニューを考え, メニュー表を作ろう。」</li> <li>○「オリジナルメニューを使って, 注文のやり取りの練習をしよう。」</li> </ul>	<p>What would you like? I 'd like~ How much is it? It' s~yen. デザート, 数, 食べ物, 飲み物</p>	<p>・相手意識をもち, 主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。【主】 ・目的や場面, 状況に応じて, 身近で簡単な事柄について聞いたり話したりしている。【技】 (行動観察, 振り返り)</p>
5	<p><b>にこいちレストランの準備に向けて注文や会計の練習をしよう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【small talk】好きな食べ物を伝えよう。</li> <li>○「数の言い方の練習をしよう。」</li> <li>○【Let' s chant】What would you like?</li> <li>○【Let' s chant】How much is it?</li> <li>○「グループで店員とお客に分かれて注文をしたり注文を受けたりする練習をしよう。」</li> </ul>	<p>A: What would you like? B: I' d like (salad sandwich). How much is it? It' s 180yen. デザート, 数, 食べ物, 飲み物</p>	<p>・相手意識をもち, 主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。【主】 ・自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。【思】 (行動観察, 振り返り)</p>

	○「リアクションの練習をしよう。」		り)
6 本 時	<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p><b>接客マスターになって、レストランでやり取りをしよう。</b></p> <p>○【small talk】好きな食べ物を伝えよう。</p> <p>○「数の言い方の練習をしよう。」</p> <p>○【Let's chant】What would you like?</p> <p>○「お店を開き、友達と注文したり会計したりしよう。」</p> <p><b>◎相手意識・目的意識をもって自分の思いや考えを伝える。</b></p>	<p>A: What would you like?</p> <p>B: I'd like ○pizza).</p> <p>A: How much is it?</p> <p>B: It's 180yen.</p> <p>デザート, 数, 食べ物, 飲み物</p>	<p>・相手意識をもち, 主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。【主】</p> <p>・自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。【思】</p> <p>(行動観察, 振り返り)</p>
7	<p><b>自分の買った食べ物を友達に紹介しよう。</b></p> <p>○プレテスト</p> <p>○【small talk】好きな食べ物を伝えよう。</p> <p>○「数の言い方の練習をしよう。」</p> <p>○【Let's chant】What would you like?</p> <p>○「自分の買った食べ物を友達に紹介しよう」</p>	<p>I'd like (○pizza), (○sandwich) and (○cake). (○pizza) is 200 yen, (○sandwich) is 180 yen, (○cake) is 300yen. It's 680 yen.</p> <p>デザート, 数, 食べ物, 飲み物</p>	<p>・相手意識をもち, 主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。【主】</p> <p>・自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。【思】(ワークシート・振り返り)</p>
8	<p><b>振り返り</b></p> <p><b>世界の食文化について考えよう。</b></p> <p>○単元テスト</p> <p>○「世界の料理やマナーについて学ぼう」</p> <p>○【Interviews】日本のすてきを聞き取ろう</p> <p><b>◎内容面と言語面について振り返る。</b></p>	<p>デザート, 数, 食べ物, 飲み物</p>	<p>&lt;「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の【知】【技】【思】全般&gt;外国語の背景にある文化に対する理解を深めている。【主】(単元テスト, 振り返り)</p>

## 8 本時の学習 (第6時)

### (1) 本時の目標

- ・接客マスターになるために、相手に伝える工夫をしながら、ていねいな表現を使って注文したり会計をしたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う。

【思考力, 判断力, 表現力等】

- ・相手に伝わるようにやり取りをすることを意識しながら、ていねいな表現を使って注文したり会計をしたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合おうとする。

【学びに向かう力, 人間性等】

### (2) 準備物

タブレット, 表現カード, メニュー表, 看板, お金カード, お店ロゴシール

(3) 学習の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
導入	<p>○挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。(指導者と・ペアで)</li> <li>・曜日, 日付, 天気を言う。</li> </ul> <p>○【Small Talk】好きな食べ物を伝えよう。</p> <p>○「数の言い方の練習をしよう。」</p> <p>○【Let's chant】What would you like?</p> <p>○接客マスターの7つの項目を確認し, 本時のめあてを考える。</p>	<p>◇はっきりとした声で, 気持ちのよい挨拶を交わす。</p> <p>◇日直と児童全体, 児童のペアでのやり取りを行わせる。</p> <p>◇ただやり取りを行うのではなく, 接客マスターになること(相手意識をもつ)を意識させる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>接客マスターになって, レストランでやり取りをしよう。</b> </div>			
展開	<p>○「メニューの名前を復習しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューに出てくる食材の名前を確認する。</li> </ul> <p>○「接客の仕方を練習しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者と接客のやり取りを確認する。</li> </ul> <p>○今日の活動の流れを確認する。</p> <p>○【Activity】「お店屋さんを開いて, オリジナルメニューを売ったり買ったりしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班の中で接客とお客の2グループに分ける。</li> <li>・前半のやり取りの振り返りをする。</li> <li>・役割を交代してやり取りを行う。</li> </ul>	<p>◇それぞれのグループで出てくるメニューの食材を練習する。</p> <p>◆指導者がジェスチャーを付けるなど相手を意識してやり取りをすること, 意識させる。</p> <p>◇リアクションやアイコンタクト, 話すスピード, 同じ言葉を繰り返す等グッドコミュニケーションスタイルをおさえる。</p> <p>◆活動の見通しをもたせる。</p> <p>◆接客が難しい場合は, やり取りの流れを黒板に貼っておく。</p> <p>◇前半が終わった後に, 挙手で接客マスターを意識してできたか確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。【知】(行動観察・振り返り)</li> <li>・相手意識をもち, 主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。【主】(行動観察・振り返り)</li> </ul>


	<p>★【目指す児童の姿】</p> <p>A : May I help you? What would you like?</p> <p>B : I'd like a salad sandwich. It looks delicious.</p> <p>A : A salad sandwich. OK?</p> <p>B : OK. How much is it?</p> <p>A : It's 180 yen. 180 yen, please.</p> <p>B : I see. Here you are.</p> <p>A : Thank you. Here you are. See you.</p> <p>B : See you.</p>	
<p>まとめ</p>	<p>○本時の活動をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードを書く。</li> <li>・振り返りを交流する。</li> </ul> <p>★【目指す児童の振り返りの姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達が欲しいメニューを正確に聞き取って、渡すことができた。</li> <li>○言われたわれた値段を聞き取り、お金を渡すことができた。</li> <li>○会話が途切れること無く、やり取りを続けることができた。</li> <li>○商品売るために、英語で呼びかけをした。</li> </ul> <p>○挨拶をする。</p>	<p>◇児童が相手に伝わりやすいようにはっきりとした声で、メニューやお金を尋ねたり答えたりしてやり取りをしていた様子を評価する。</p>

(4) 板書計画

<p>Today's goal 接客マスターになって、レストランでやり取りをしよう。</p>	<p>Thursday</p>	<p>December</p>	<p>10th</p>	<p>sunny</p>
<p>店員</p>	<p>お客</p>	<p>接客 master</p>		
<p>May I help you? What would you like?</p>	<p>I'd like a salad sandwich. It looks delicious.</p>			
<p>A salad sandwiches. OK?</p>	<p>OK. How much is it?</p>			
<p>It's 180 yen. 180yen, please.</p>	<p>I see. Here you are.</p>			
<p>Thank you. Here you are. See you.</p>	<p>See you.</p>			

Point


smile



Point


clear voice

pizza



Point


eye contact



Point


Reaction

I see.



Point

gesture




Point

repeat

Pizza. OK?

Pizza please.



Point

Slowly

OK.

Please speak slowly.

